

平成29年度第1回鎌ケ谷市学区審議会議事録

1 開催日時

平成29年10月17日（火）午前10時00分～午前11時00分

2 開催場所

総合福祉保健センター4階会議室

3 議題

(1) 会長の選出

(2) 副会長の選出

(3) 報告事項

ア 学校選択制について

イ 平成29年度及び平成30年度の学級編制状況について

ウ 児童生徒数及び学級数の今後の推移について

エ 市内の開発行為について

オ 鎌ケ谷小学校の通学区域変更後の状況等について

4 出席者

(委員) 小島邦夫会長、松尾博副会長、江川堯委員、岩井喜和子委員、鈴木吉久委員 以上5名

(事務局) 山崎正史生涯学習部部長、笠井真利子生涯学習部参事（事）次長、小川宏宜生涯学習部副参事、山田圭子生涯学習部副参事（事）学校教育課長、鈴木知子学校教育課主幹（兼）管理主事、澤田裕介学校教育課副主幹（兼）管理主事、市村昌子学務保健室長、滝口明宏学務保健室主任主事 以上8名

5 傍聴者

0人

6 会議の公開及び会議録の開示について

審議の結果、鎌ケ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議を公開し、会議議事録を公開することとした。

7 会議録署名人の指名

鈴木委員、江川委員を指名した。

8 主な内容・発言の趣旨

学区審議会委員の一斉改選後、はじめての会議であることから、会長選出までの進行を事務局で進め、会長と副会長を選出した後、報告事項の説明とした。

○会長

それでは、報告事項ア学校選択制について事務局に報告を求めます。

○事務局（資料「学校選択制の概要」）

学校選択制については、鎌ヶ谷小学校と五本松小学校、平成29年度から鎌ヶ谷中学校を除く市内小学校7校と中学校4校で実施しているところです。

対象は、平成29年10月31日現在鎌ヶ谷市に住所があり、平成30年度に小学校又は中学校に入学予定の児童生徒となります。

新入学児童については、9月下旬に発送した就学時健康診断の通知と併せてパンフレットを送付し、小学校6年生については、各学校経由でパンフレットの配布をしております。なお、市広報の10月1日号にも学校選択制のお知らせを掲載いたしました。

各学校の受入れ枠の人数については、原則1学級分ということで、小学校、中学校ともに35名と考えておりますが、教室数の関係で、受入れ人数を調整する場合もございます。希望者が多く、抽選を行う学校があった場合は、11月18日に抽選会を実施し、結果の通知については12月上旬頃の発送を予定しております。

○会長

ただいま事務局からの報告について、ご質問等ございますか。

《質問等なし》

○会長

報告事項イ平成29年度及び平成30年度の学級編制状況について事務局に報告を求めます。

○事務局（資料1ページ）

まず五本松小学校を例に見てみると、平成29年5月1日現在の児童数は、普通学級の合計が661名で、特別支援学級の児童を合わせると全校児童数は670名となります。

平成30年度の児童数は、普通学級の合計が666名で、特別支援学級の児童を合わせると全校児童数は672名となり、平成29年度に比べ、全体で2名増えると見込んでおります。

次に五本松小学校の学級数についてですが、平成29年度の現2年生の弾力が緑色になっております。これは標準3学級であるが、弾力学級により4学級で開いたことを意味しております。一方、平成29年度の現3年生の弾力学級はピンク色になっております。これは本来、弾力学級で4学級を開くことができましたが、教室の不足により4学級を開くことができない状況でした。鎌ヶ谷中学校の1年生も同様となります。

平成30年度の五本松小学校の標準学級は1学級減りますが、弾力学級が3学年あり、結果として1学級増えることが見込まれております。なお、五本松小学校は平成30年4月より普通教室が4つ、特別教室が2つ増設されるため、1学級増える見込みですが、対応できる状況です。

参考までに鎌ヶ谷小学校を見てみると、平成30年度の新1年生は220名となっておりますが、学校選択制等を加味すると、例年中部小学校へ40名程度移動しております。したがって、220名から40名を引くと180名程度となり、6学級になることが予想されます。

また、中部小学校は82名に40名を足すと122名となり、4学級となることが予想されます。

さらに、平成30年度は北部小学校に情緒学級、第四中学校及び第五中学校に知的学級を新設する方向で現在千葉県に要望を出しているところですが、確定ではございません。

※標準学級：小学1年生35名、小学2年生から中学3年生までは40名で学級を編制する国の基準。

弾力学級：小学2年生と中学1年生は35名、小学3年生から小学6年生と中学2年生、中学3年生は38名で学級を編制する千葉県の基準。

○会長

ただいま事務局からの報告について、ご質問等ございますか。

○委員

五本松小学校は平成30年度に学級数が増えていますが、対応可能ですか。

○事務局

平成29年度は22学級分しか普通教室が無く、3年生を弾力学級で4学級にしてしまうと、1学級分足りなくなってしまう。しかし、平成30年度は普通教室4、特別教室2の校舎増設を予定しており、26学級分の普通教室を確保できることから、23学級であれば、弾力学級で対応することが可能となります。

○会長

報告事項ウ児童生徒数及び学級数の今後の推移について事務局に報告を求めます。

○事務局（資料2ページから6ページ）

平成31年度以降の児童生徒数と学級数について、現段階の住基データで予測可能な範囲で説明いたします。

市全体としては、平成34、5年度までは微増傾向で、ここをピークに減少に転じてくると予想しております。

各学校の普通教室数を見ると、余裕があるように見えますが、現在特別教室として使用している教室を、普通学級用に工事した場合の数も含まれるので、そのような改修工事を行うことで、ピーク時も乗り切れるだろうと考えております。

ただ、児童生徒がより良い教育環境で学習するためには、少人数指導の充実も不可欠であり、特別支援学級の新設など地域や保護者からの多様なニーズに応えるための教室も必要となってきます。

今後、ピーク時を過ぎれば、児童生徒数も減少傾向になると考えられることから、改修工事で安易に普通教室を増やすのではなく、国や県の動向も注視し、教室数の確保については慎重に対応していかなければなりません。

○会長

ただいま事務局からの報告について、ご質問等ございますか。

《質問等なし》

○会長

報告事項エ市内の開発行為について事務局に報告を求めます。

○事務局（資料7ページから10ページ）

平成28年11月から平成29年9月までで、専用住宅や共同住宅など、児童生徒数に直接関係してくるものを20件記載しております。

この中で、No7とNo18については、鎌ヶ谷小学校・鎌ヶ谷中学校が該当学区となり、専用住宅が9戸と共同住宅の中で2LDKの間取りが6戸あることから、ファミリー世帯の入居が予想されるため、児童生徒数の増加が見込まれます。

また、No9とNo13については、規模の大きな開発となりますが、該当学区はいずれも北部小学校・第三中学校であり、ある程度まとまった児童生徒数の増加が予想されるものの、今のところ教室数の不足が生じることはない見込んでおります。

○会長

ただいま事務局からの報告について、ご質問等ございますか。

○会長

市内で大規模な共同住宅の開発はありませんか。

○事務局

平成27年度に申請のあったくぬぎ山のマンション（55戸）以降は、児童生徒数に関わってくる大規模な共同住宅の開発行為はございません。

○会長

最後に、報告事項オ鎌ヶ谷小学校の通学区域変更後の状況等について事務局に報告を求めます。

○事務局

平成29年7月1日に、鎌ヶ谷小学校を中心とした通学区域の変更をいたしました。通学区域の変更にあたっては、地域コミュニティを考慮し、できるだけ、自治会の境と通学区域の境を合わせました。さらに、教育的配慮として、同じ小学校で過ごした仲間と同じ中学校へ進学できるよう、中学校の学区についても併せて変更を行いました。

また、通学区域の変更に伴う移行措置として、通学区域を変更した地域に、

変更前から居住し、鎌ケ谷小学校に在籍している児童については、卒業まで鎌ケ谷小学校に在籍できることとしていることから、平成30年度に小学校入学を予定している児童で、入学時に、兄・姉が鎌ケ谷小学校に在籍している場合は、同様に鎌ケ谷小学校に通えることとし、現在、希望する保護者からの手続きを随時行っているところです。

○事務局（資料「学区変更に伴う通学路の安全対策」）

続きまして、鎌ケ谷小学校から西部小学校へ変更した地域の通学路については、①から③の箇所で安全対策を行いました。①は入道台の交差点付近では、約50メートルの柵を設置しました。②は第三中学校入口から入道溜の交差点までは、柵や視覚的に注意を促すためグリーンカラー舗装を設置しました。また、入道溜の交差点には巻き込み防止等のため、信号の待避場所に車止めを設置しております。③は、押ボタン信号部に横断用カラー舗装を設置し、その先のおおぞら保育園の裏を抜けて西部小学校に向かうため、国道464号線の約40メートルにグリーンカラー舗装を設置しました。

次に、鎌ケ谷小学校から東部小学校へ変更した地域の通学路については、④から⑨の箇所で安全対策を行いました。④は、ジャペルのT字路に横断用カラー舗装を設置しました。⑤から⑧は、「学童注意」の看板を設置しております。⑨も、巻き込み防止等のため、車止めを設置しました。

今後、今回実施した箇所を含め、学校等から要望があれば、優先的に安全対策を検討してまいります。

○事務局

補足説明になりますが、通学区域の変更に伴っては、通学路のハード面だけでなく、教育面の安全指導も徹底して行ってまいります。

○会長

平成29年7月1日以降学区が変更になって、何かご意見等は受けていますか。

○事務局

ご相談を個別に受けているケースはございます。

○会長

以上で議事を終了いたします。

9 会議録署名人の署名

以上、会議の経過を掲載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成29年12月4日

氏名 鈴木 吉久

氏名 江川 堯
